
愛知医科大学医学部

年次報告書

2024(令和6)年度



愛知医科大学 医学部

医学教育分野別評価 愛知医科大学医学部医学科 年次報告書

2024 年度

医学教育分野別評価の受審 2019（令和元）年度

受審時の医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.31

本年次報告書における医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.36

はじめに

本学医学部医学科は、2019 年に日本医学教育評価機構による医学教育分野別評価を受審し、2020 年 6 月 1 日より 7 年間の認定期間が開始した。

医学教育分野別評価基準日本版 Ver.2.36 を踏まえ、2023 年度の年次報告書を提出する。なお、本年次報告書に記載した教育活動は、日本医学教育評価機構の作成要項に則り、2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日を対象としている。

1. 使命と学修成果

1.1 使命

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 建学の精神を使命として定めている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 建学の精神、学是を適宜大学紹介パンフレット等の大学の刊行物に掲載し、継続的に学外へ発信しており、2023 年度からは時代の変化に対応し SNS（X、Instagram）の活用を開始した(資料 1-3)。
- ・ 継続的に市民公開講座を実施し、地域社会の教育・文化向上に寄与した。また、SNS を活用し、事前周知、事後活動報告を行うことにより、情報発信の拡充に努めた(資料 4)。
- ・ 継続的に教職員の新規採用時に学是を記した携帯用カードを配付し、周知した。また、認識の向上を図る取り組みとして適宜カードの携帯を促した。

改善状況を示す根拠資料

資料1：2023年度大学紹介パンフレット

資料2：愛知医科大学公式 SNS「X」(https://x.com/AIchi_med_u)

資料3：愛知医科大学公式 SNS「Instagram」(https://www.instagram.com/AIchi_med_u/)

資料4：2023年度市民公開講座チラシ

質的向上のための水準：適合…指摘事項等無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学研究の達成という使命に対して、学内の研究活性化のため、基礎医学と臨床医学の研究者が融合した「研究ユニット」を形成し、このユニットに研究費を配分することにより、「学内研究ユニット創出支援事業」として分野横断的な研究を推進している。この研究成果を発表する場として、2021年度から「学内研究ユニット創出支援事業成果発表会」を実施しており、2023年度においても継続して実施された(資料5)。
- ・ 学術国際交流協定大学を拡充させ、タイ国のタマサート大学と新たに協定を締結し、国際交流締結校が7か国10大学となった。また、2022年度に加盟したハワイ医学教育プログラム(HMEP)において、国内外での実習を2023年度にスタートした。更に多くの学生に海外留学への機会を与えるため、コロナ禍で中止していた協定校との交換留学事業を再開したほか、オンライン等を活用した交流事業を計画した(資料6-8)。

改善状況を示す根拠資料

資料5：成果発表会ポスター

資料6：学術国際交流協定書

資料7：2023年度第3回医学部教授会資料(資料No.12)

資料8：2023年度第6回医学部教授会資料(資料No.8)

1.2 大学の自律性および教育・研究の自由

基本的水準：適合…指摘事項等なし

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2022年11月に公表された令和4年度改定版医学教育モデル・コア・カリキュラム（新コアカリ）に対応するべく、2024年度新入生から適用するカリキュラムを作成した(資料9,10)。また、その際に取得すべき単位数が過重であった1学年次カリキュラムを特に見直した。
- ・ 診療現場へのAI導入やDx、ビックデータを用いた研究が加速する中で、学部教育においてもこうした情報技術・データサイエンスの基礎を理解し、適切に使用できるように指導する必要性が増している。令和6年度入学生から適用される、新コアカリでも情報・科学技術の習熟が求められていることから、本学の数理・データサイエンス・AI教育の企画立案や継続的な向上、評価について審議する愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会及び愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会を看護学部と共同して立ち上げた。また、今年度までの実績を踏まえ、令和6年度に文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に申請予定である(資料11,12)。

改善状況を示す根拠資料

資料9：2024年度教科案内

資料10：2023年度第1回医学教育センターカリキュラム検討部門会議議事録

資料11：2023年度第1回メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会議事録

資料12：2023年度第1回メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会議事録

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 学生代表がカリキュラム検討部門に参加して教職員と自由に意見交換を行っている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、学生代表が医学教育センターカリキュラム検討部門に委員として参加し、議論を行った(資料10,13)。
- ・ 昨年度に引き続き、学生代表が教育プログラム評価委員会に委員として参加し、医学部IR室による各種調査結果の報告を受け、議論に参加した(資料14,15)。

- ・ メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会及びメディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会を開始し、学生代表が同委員会に委員として参加し、議論を行った(資料 11, 12)。

改善状況を示す根拠資料

資料 10：2023 年度第 1 回医学教育センターカリキュラム検討部門会議議事録

資料 11：2023 年度第 1 回メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会議事録

資料 12：2023 年度第 1 回メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会議事録

資料 13：2023 年度第 2 回医学教育センターカリキュラム検討部門会議議事録

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

1.3 学修成果

基本的水準: 適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 2016 年度に策定した卒業時のコンピテンス、コンピテンシーを達成するためのマイルストーンを 2018 年度に策定している。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、医学部 IR 室はコンピテンシー・マイルストーン到達度調査等、各種アンケート調査した(資料 16, 17)。
- ・ 教育プログラム評価委員会では、医学部 IR 室からの上記調査結果の報告を受け、今後の対応について議論し、関連部門(医学教育センター、教務委員会)に報告した(資料 14)。
- ・ 医学教育センター主催「医学教育者のためのワークショップ」を活用し、コンピテンス、コンピテンシー周知を行った(資料 18)。
- ・ 教職員へのコンピテンス、コンピテンシー周知を、新任研修等で実施できるか検討した。
- ・ IR アンケートで、コンピテンス、コンピテンシー、マイルストーン等の達成度合いが、50%に満たない項目もあることから、学習成果を見直すためのコンピテンス、コンピテンシー見直しロードマップの策定を進めた(資料 19)。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 16：2022 年度卒業予定者アンケート（コンピテンス、コンピテンシー調査）

資料 17：2022 年度在学生コンピテンシー、マイルストーン調査

資料 18：医学教育センター主催「医学教育者のためのワークショップ」次第

資料 19：コンピテンス、コンピテンシー見直しロードマップ

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 卒後研修終了時の学修成果を明確にし、卒業時の学修成果と関連づけて教育を行うことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 卒業生アンケート（研修医）を継続して実施した(資料 20)。
- ・ 教育プログラム評価委員会において、上記調査結果を基に今後の対応について議論し、関連部門（医学教育センター、教務委員会、卒後臨床教育センター）に報告した(資料 14)。
- ・ 卒後臨床研修センターとの連携を行い、卒後教育の観点から見た卒前教育の問題点のフィードバックを受ける体制作りを強化する。
- ・ 卒業時と卒後研修終了時の学修成果の共有化、関連付けを達成するため、医学教育センター、卒後臨床研修センターの更なる連携強化を計画している。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 20：2022 年度研修医コンピテンシー調査・研究施設アンケート

1.4 使命と成果策定への参画

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 今後、使命と学修成果を見直す際には、教員だけでなく、学生、職員も参画すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、教育プログラム評価委員会を2回開催し、学生、研修医、学外有識者、地域社会代表の参加の下、コンピテンス、コンピテンシー達成度アンケート調査等、各種調査結果について議論した(資料 14, 15)。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 今後、使命と学修成果を見直す際には、他の医療職、患者など、より広い範囲の教育関係者の参加が望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、教育プログラム評価委員会を2回開催し、学生、研修医、学外有識者、地域社会代表の参加の下、コンピテンス、コンピテンシー達成度アンケート調査等、各種調査結果について議論した(資料 14, 15)。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

2. 教育プログラム

2.1 プログラムの構成

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 学生の学修意欲を刺激する目的で、問題基盤型グループ学修など多様な教育・学修方法を推進していることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 新型コロナウイルス感染症が5類となり、講義は対面となっているが、Zoomを用いた遠隔講義（主に非常勤講師）及び授業録画は継続している(資料 21)。
- ・ AIDLE-K での小テストを継続している(資料 22)。
- ・ 2024 年度カリキュラムから1学年次講義に「PBL」、「ICT リテラシー」を新規に開講するための準備を進めた。
- ・ メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会とメディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会を立ち上げた。数理・データサイエンス・AIに関する教育の充実のため、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」に申請予定である(資料 11, 12)。

改善状況を示す根拠資料

資料 11：2023 年度第 1 回メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会議事録

資料 12：2023 年度第 1 回メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会議事録

資料 21：2023 年度講義動画配信について(学生通知メール)

資料 22：2023 年度教科案内

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 1 学年次から 4 学年次にかけて、「早期体験実習」、「行動科学」、「プロフェッショナルリズム」、「地域包括ケア実習」、「コミュニケーション実習」などを組み合わせ、生涯学習につながる教育を体系的に行っていることは評価できる。

改善のための示唆

- ・ 生涯学習につながる学修態度の向上に資するために 2018 年度から導入された e ポートフォリオを有効に活用することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 1 学年次から 4 学年次にかけて、「早期体験実習」、「行動科学」、「プロフェッショナルリズム」、「地域包括ケア実習」、「コミュニケーション実習」などを組み合わせ、生涯学習につながる教育を体系的に行うことを継続している。2023 年度までは、1 学年次の「早期体験実習（シミュレーション実習・コミュニケーション実習）」であったが、2024 年度から「シミュレーション実習」、「コミュニケーション演習 1」と分け、さらに実習の充実を図るための準備を進めた。
- ・ e ポートフォリオを有効に活用するために、教員の e ポートフォリオ使用経験をさらに積み重ねているが、有効な教育活用までには繋がっていない(資料 23)。

改善状況を示す根拠資料

資料 23：2023 年度医学部第 1 回 FD 開催案内 (Mahara)

2.2 科学的方法

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 1 学年次の「初年次医科学セミナー」、3 学年次の「基礎医学セミナー」などにより、科学的手法の原理、医学研究の手法が教育されている。
- ・ 臨床実習の現場で ICT が活用され、EBM を実践していることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2023 年度の基礎医学セミナーでは、1 週間で 2022 年度の講義録画を学生に見せ、レポートを作成させ、残りの 1 週間で各研究室において実験・研究を行った(資料 24, 25)。
- ・ クリニカル・クラークシップで UpToDate の利用を促し、ログの回数等を調査している。また、4 学年次の臨床実習入門でも、実践中である(資料 22, 26)。
- ・ 診療参加型臨床実習を充実させるため、臨床実習支援システム (F.CESS) を使用している。
- ・ 初年次医科学セミナーではアクティブラーニングによる、科学的手法の原理についての

教育を実施した。

改善状況を示す根拠資料

資料 22：2023 年度教科案内

資料 24：2023 年度基礎医学セミナーの実施について

資料 25：2023 年度基礎医学セミナー日程、班名簿

資料 26：2023 年度 UpToDate へのアクセス実績

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 1～3 学年次の「選択講座」で、基礎科学、基礎医学の講座を中心に先端的な研究を学ぶ機会を設けていることは評価できる。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 選択講座は 2020 年度から対象を 4 学年次まで拡大し、今年度も継続している(資料 27)。
- ・ 時代の変化に合わせて、AI リテラシーや機械学習の基礎等の講義を行っている(資料 27)。

改善状況を示す根拠資料

資料 27：2023 年度選択講座

2.3 基礎医学

基本的水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、「統合講義(腫瘍学)」、「統合講義(炎症学)」を開講した(資料 22)。
- ・ 「薬理学ロールプレイ」を開講した(資料 28)。
- ・ 臨床医学における基礎科学・基礎医学学修内容の意味付けが明らかになるように、基礎

科学・基礎医学科目の講義枠の一部に臨床講座教員が参画する「ジョイントセッション(JS)」を継続した(資料 29)。

- ・ JS が水平統合か垂直統合かを明確にするため、2024 年度教科案内に追記するように準備した(資料 30)。

改善状況を示す根拠資料

資料 22：2023 年度教科案内

資料 28：薬理学ロールプレイ講義資料

資料 29：2023 年度教科案内(アクティブラーニング【AL】、ジョイントセッション【JS】の数)

資料 30：2024 年度教科案内作成要領

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 現在および将来的に社会や医療システムにおいて必要となることを、基礎医学において 6 年一貫の全体のカリキュラムの中で検討することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に続き、「医療のための情報学」や「行動科学 1a」において、数理・データサイエンス・AI や研究倫理など将来必要となる学修内容を取り入れた(資料 22)。

改善状況を示す根拠資料

資料 22：2023 年度教科案内

2.4 行動科学と社会医学、医療倫理学と医療法学

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 「行動科学」、「プロフェッショナリズム」、地域医療等と連携した「地域社会医学実習」などを体系的に構築していることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、「行動科学 1b・1c」、「プロフェッショナリズム 1a」、「地域社会医学実習」、「医療と倫理」を開講した(資料 22)。
- ・ 2 学年次の地域社会医学実習では、障害者施設で学んでいる。また、3 学年次の地域包括ケア実習では、希望者に対して老人ホーム等の施設で学ぶ機会を設けている(資料 31, 32)。

改善状況を示す根拠資料

資料 22：2023 年度教科案内

資料 31：2023 年度地域社会医学実習の手引

資料 32：2023 年度地域包括ケア実習の手引

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 現在および将来的に社会や医療システムにおいて必要となることを、行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学において 6 年一貫の全体のカリキュラムの中で検討することが望まれる。
- ・

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 6 年一貫の全体のカリキュラムとして、1 学年次から 4 学年次で開講している(資料 22)。
- ・ 1 学年次では昨年に引き続き、「生命倫理」を開講すると共に、臨床実習期間中の「クリニカル・クラークシップ振り返り」において、臨床実習で経験した倫理的諸問題について教員学生間で討議した。

改善状況を示す根拠資料

資料 22：2023 年度教科案内

2.5 臨床医学と技能

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 4 学年次から 5 学年次にかけての 40 週の「クリニカル・クラークシップ A」と 5 学年次から 6 学年次にかけての 28 週の「クリニカル・クラークシップ 2」と段階的に患者

診療への参加度をあげるプログラムを実践している。

改善のための助言

- ・ 全学生に重要な診療科で十分な臨床実習時間を確保すべきである。
- ・ 全学生が臨床実習の中で健康増進と予防医学の体験をすることができるよう工夫すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ クリニカル・クラークシップ B においては、2022 年から導入したメディカルセンターでの実習を継続し、急性期医療のみならず、慢性期、回復期医療の実習を実践している(資料 33)。
- ・ クリニカル・クラークシップ A を現行の 40 週から 36 週へ、クリニカル・クラークシップ B を現行の 32 週から 36 週へと変更し、より臨床参加型実習を増やす方向性が提案されている。また、クリニカル・クラークシップ A で重要な内科・外科は全科を回るように変更していく(資料 34)。

改善状況を示す根拠資料

資料 33：2022-2023 年クリニカル・クラークシップの手引

資料 34：2023 年度第 16 回教務委員会議事録

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 1 学年次から 6 学年次にかけて、計画的に患者と接する教育プログラムが実施されている。

改善のための示唆

- ・ 現在および将来的に社会や医療システムにおいて必要となることを、臨床医学において 6 年一貫の全体のカリキュラムの中で検討することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ コミュニケーション演習において、2022 年度、2023 年度は 2 学年次及び 3 学年次で模擬患者と接する機会を設け、初対面の患者と良好なコミュニケーションを取るためのスキルを身に付けることを行っているが、2024 年度はさらに 1 学年次にコミュニケーション演習 1 を追加する予定である。
- ・ 2023 年度においても 2 学年次の地域社会医学実習において、障害者施設での実習を実施した(資料 31)。

- ・ 3学年次の地域包括ケア実習における老人保健施設訪問は、2022年度はコロナのため実施できなかったが、2023年度はコロナが5類感染症になったことを踏まえ再開した(資料32)。
- ・ 1学年次の早期体験実習、6学年次の選択制での地域医療の実習は継続して行っている(資料33, 35)。
- ・ 多職種連携演習は、2023年度も継続して実施した(資料22)。

改善状況を示す根拠資料

資料22：2023年度教科案内

資料31：2023年度地域社会医学実習の手引

資料32：2023年度地域包括ケア実習の手引

資料33：2022-2023年クリニカル・クラークシップの手引

資料35：2023年度早期体験実習1c手引

2.6 プログラムの構造、構成と教育期間

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育センターから独立したプログラム評価委員会で、マイルストーン・コンピテンシーの達成度調査を実施し、改善必要項目は教務委員会などにフィードバックしていく(資料14, 36)。
- ・ 引き続き、卒業生及び卒業生の初期研修病院に対してもコンピテンシー達成度に関するアンケート調査を実施する。

改善状況を示す根拠資料

資料14：2023年度第1回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料36：2023年度第8回教務委員会議事録

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 水平垂直統合講義として開講されている「統合講義（腫瘍学、炎症学）」は、基礎医学講座、臨床医学講座が協力して実施されている。

改善のための示唆

- ・ 臨床医学において、現在は診療科別科目授業となっているが、今後水平的統合教育を推進することが望まれる。
- ・ 腫瘍学、炎症学の学修効果を評価したうえで、基礎・社会医学と臨床医学を統合した科目を広く導入することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ シラバス作成 FD において、JS の増加を各科目責任者に促すとともに、医学教育センターワークショップにおいて、JS の現状について意見交換を継続して実施している(資料 18, 30)。
- ・ 統合講義の拡充を図るため、基礎医学系科目の各論を臨床医学系科目で実施することを検討する。
- ・ 医学部 IR 室が統合講義の学修効果についてアンケート調査を行う予定である。

改善状況を示す根拠資料

資料 18：医学教育センター主催「医学教育者のためのワークショップ」次第

資料 30：2024 年度教科案内作成要領

2.7 プログラム管理

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、医学部教育プログラム評価委員会を開催した。同委員会で、マイルストーン・コンピテンシー達成度調査の結果を検討し、問題項目を教務委員会等にフィードバックした(資料 14, 15)。
- ・ 愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会を開催した。同委員会で医学部 IR 室によるアンケート調査結果を議論した。その結果を愛知医科大学

メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会にフィードバックした(資料 11, 12)。

改善状況を示す根拠資料

資料 11：2023 年度第 1 回メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会議事録

資料 12：2023 年度第 1 回メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会議事録

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ カリキュラム検討部門に他の医療職、患者代表など、広い範囲の教育の関係者を含むことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育センターカリキュラム検討部門の外部委員には、他学部教官を選定することも検討していく。
- ・ 「こんな医師になってほしい」という発言が得られるよう、今後、患者代表等の参加も引き続き検討していく。
- ・ 医学部の委員会等に関わる弁護士等の参加も検討していく。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

2.8 臨床実践と医療制度の連携

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、学内外の研修病院に勤務する初期研修医に対して「卒業生アンケート」を実施した(資料 37)。
- ・ 昨年度に引き続き、卒業生が初期研修医として勤務する学外研修病院の研修指導者に対して、本学卒業生の評価アンケートを行った(資料 37)。
- ・ 上記調査結果は、教育プログラム評価委員会に報告され、議論された(資料 14)。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 37：2022 年度卒業生アンケート（研修医）

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 卒業生が将来働く環境からの情報を得て、教育プログラムを適切に改良することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部 IR 室は、2023 年度以降も学外研修病院の研修指導者に対する、本学卒業生の評価アンケートを行う予定である(資料 37)。
- ・ 教育プログラム評価委員会で議論された内容は、教務委員会等へフィードバックされた(資料 14)。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 37：2022 年度卒業生アンケート（研修医）

3. 学生の評価

3.1 評価方法

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 知識、技能および態度を含む評価を確実に実施すべきである。
- ・ 進級判定や卒業判定に関して利益相反の規定を作るべきである。
- ・ 評価が外部の専門家によって精密に吟味されるべきである。
- ・ 評価結果に対して疑義申し立て制度を設けるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 疑義申し立て制度に関する資料を集積し、教務委員会での議論に向けて準備を開始した。
- ・ 総合試験 2 トライアルを実施し、低学年における総合的な学力の評価を開始した(資料 38, 39)。

改善状況を示す根拠資料

資料 38：2023 年度第 9 回医学部教授会資料(資料No.17)

資料 39：2023 年度第 15 回教務委員会資料(資料No. 7)

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 評価方法の信頼性と妥当性を検証することが望まれる。
- ・ 外部評価者の活用を進めることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2022 年度に引き続いて、2023 年度第 2 回教育プログラム評価委員会において、定期試験の得点分布を集計し、評価の妥当性を検討した(資料 15, 40)。

改善状況を示す根拠資料

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 40：2023 年度科目試験分布

3.2 評価と学修との関連

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 学修成果を学生が達成していることを確実に評価すべきである。
- ・ 形成的評価と総括的評価の適切な比重により、学生の学修と教育進度の判定の指針となる評価を行うべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2023 年度医学部第 1 回 FD (2023 年 4 月 27 日実施) において、「今後の初年次(低学年)教育のあり方」を主題として GPA 制度やそれを利用した進級判定等についての知見を得た(資料 41)。
- ・ 低学年における学修の総括的評価として、総合試験 2 トライアルを実施した(資料 38, 39)。

改善状況を示す根拠資料

資料 38：2023 年度第 9 回医学部教授会資料(資料No.17)

資料 39：2023 年度第 15 回教務委員会資料(資料No.7)

資料 41：2023 年度医学部第 1 回 FD 次第

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 基本的知識の修得と統合的学修を促進するために、カリキュラム単位ごとに試験の回数と方法を適切に定めることが望まれる。
- ・ 学生に対して、評価結果に基づいた時機を得た、具体的、建設的、そして公正なフィードバックを行うことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 教科案内作成に関する FD を実施し、各科目における適切な評価を行うよう周知している(資料 30)。
- ・ 再試験を欠席した場合の新たな再試験の実施条件を整理した(資料 42)。

改善状況を示す根拠資料

資料 30：2024 年度教科案内作成要領

資料 42：2023 年度第 5 回教務委員会資料(資料No.10)

4. 学生

4.1 入学方針と入学選抜

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 多様な入学者選抜方法で学生を受け入れていることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2023 年度国際バカロレア選抜において、受験者 5 名から 2 名が入学した。
- ・ 一般選抜(第 1 次試験、第 2 次試験)において、受験上の配慮が必要な受験生に対して、座席位置、持込物の配慮等を行うと共に別室受験を実施した。
- ・ 2023 年度入試において、救護担当教員マニュアルと不測の事態が発生した場合の対応マニュアルの見直しを行い改訂した(資料 43)。
- ・ 不測の事態に備えて、入試会場に警備員を配置するなど人員配置を見直すことで、より安全な入学者選抜の実施を可能とした(資料 43)。
- ・ 2023 年度大学入学共通テスト利用選抜(前期)において、第 2 次試験受験資格者判定ミスがあり、不合格の判定になった受験者が 80 名いた。当該受験者及び文部科学省と協議の上、第 2 次試験日を追加で 3 日間設定し実施した。未受験者には検定料を返還した(資料 44)。
- ・ 受験生の利便性を考慮し、地方会場(東京・大阪)の会場を変更した。

改善状況を示す根拠資料

資料 43：2023 年度第 3 回医学部入学試験委員会議事録(抜粋)

資料 44：入試判定ミス：ホームページ「お知らせ」第 1～3 報

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 入学決定に対する疑義申し立て制度を明記することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、入学試験成績開示希望者に対して成績開示を行った(資料 45)。
- ・ 昨年度に引き続き、他大学の疑義申し立て制度について継続して情報収集を行った(資料 43)。
- ・ 医学部入学者選抜検討ワーキングにおいて、医学部 IR 室の調査結果に基づき、過去の入学者選抜試験の妥当性について分析・検証を行った(資料 46, 47)。
- ・ 医学部入学試験委員会において、医学部入学者選抜検討ワーキングでの検討結果に基づき、今後の入試方法の改善に向けて子細な検討を行い、出題範囲・募集人員等、入試制度の一部を改めた(資料 45)。

改善状況を示す根拠資料

資料 43：2023 年度第 3 回医学部入学試験委員会議事録(抜粋)

資料 45：2023 年度第 2 回医学部入学試験委員会議事録(抜粋)

資料 46：2023 年度第 1 回医学部入学者選抜検討ワーキング議事録(抜粋)

資料 47：2023 年度第 2 回医学部入学者選抜検討ワーキング議事録(抜粋)

4.2 学生の受け入れ…指摘事項無し

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2019 年から 2023 年まで学生 1 人あたり約 0.86 人の教員を配置している(資料 48)。

年	医学部学生数	教職員数	内看護学部	差引教員数	学生一人当たり
2019	709	659	43	616	0.869
2020	718	658	43	615	0.857
2021	719	665	47	618	0.860
2022	724	657	45	612	0.845
2023	721	662	43	619	0.859

- ・ THE 日本ランキングの「教育リソース」分野において、本学は、3 年連続 東海 3 県で 1 位(全国順位 2021：14 位、2022：12 位、2023：10 位)であり、2023 年度発表のラ

ンキングでは全国 10 位にランクインしており、本学が全国でもトップクラスの優れた教育環境にあることを示している(資料 49)。

改善状況を示す根拠資料

資料 48：愛知医科大学要覧 2023

資料 49：THE 日本大学ランキング・教育リソース 過去 3 年の推移

質的向上のための水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2023 年度入試においても引き続き国際バカロレア選抜を行った(資料 50)。

改善状況を示す根拠資料

資料 50：2024 年度学生募集ガイド

4.3 学生のカウンセリングと支援…指摘事項無し

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部 IR 室では引き続き指導講座制度について学生アンケートを実施した。その結果は学生生活委員会に報告され、議論された(資料 51-53)。
- ・ 保健管理センターにおいて、引き続き学生の身体的不調に対する対応を行った(資料 54)。
- ・ 昨年度に引き続き、学生ホールに設置した学生意見箱や Web 上の電子目安箱に寄せられた学生の意見に対して対応した。

- ・ 学生相談室の相談件数が近年増加傾向にあることを踏まえ、学生相談室のカウンセラーを3名から5名に増員した(資料55)。
- ・ 学生相談室の新たな取り組みとして、週に2日(火曜日・水曜日)ランチアワーと称して予約不要で気軽に相談できる時間帯を設けた(資料56)。
- ・ メンタルヘルスが不安定な状態にある学生を早期に発見し、支援につなげることを目的にUPI(学生精神的健康調査)実施及びフィードバックを行った。
- ・ 学生相談室のHPの開設と定期的な学生相談室だよりの発行などを行った(資料57)。
- ・ 1学年次から3学年次学生(初年次学生及び低学年次学生)を対象にした学生相談室主催の交流会を行った。
- ・ 2019年度以来の指導講座(教員)と保護者との個人面談を再開した(資料58)。

改善状況を示す根拠資料

資料51：2023年度第10回医学部学生生活委員会議事録

資料52：2023年度第10回医学部学生生活委員会資料(資料No.8-1)

資料53：2023年度第10回医学部学生生活委員会資料(資料No.8-2)

資料54：2023年度保健管理センター利用者状況表

資料55：2023年度学生相談室活動報告

資料56：ランチアワーのお知らせ

資料57：学生相談室ホームページ

資料58：指導教員(講座)と保護者との個人面談について

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 成績不振学生に対する学修支援として、医学教育センター教員及び各講座からのチューター教員による指導を実施した(資料59, 60)。
- ・ 指導講座制度を活用して、希望学生に対し、正規教育カリキュラム以外の枠で講座での活動内容について知る機会及び、早期から興味のある専門分野の教員とキャリアに関して相談する機会を提供した(資料51-53)。
- ・ 学生の研究活動を支援し、第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会の学生ポスターセッションで学生発表を行い、最優秀賞等を受賞した(資料61)。第55回日本医学

教育学会で学生発表を行い、優秀発表賞を受賞した(資料 62)。第 75 回西医体において陸上競技部が砲丸投げで優勝した(資料 63)。以上の受賞者に対して、大学としても「学生の表彰に関する規程」に基づき、学長から表彰した。

改善状況を示す根拠資料

資料 51：2023 年度第 10 回医学部学生生活委員会議事録

資料 52：2023 年度第 10 回医学部学生生活委員会資料(資料No.8-1)

資料 53：2023 年度第 10 回医学部学生生活委員会資料(資料No.8-2)

資料 59：2023 年度前学期学修支援スケジュール

資料 60：2023 年度後学期学修支援スケジュール

資料 61：学生表彰資料(第 14 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会)

資料 62：学生表彰資料(第 55 回日本医学教育学会)

資料 63：学生の表彰（クラブ表彰）について

4.4 学生の参加

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 使命を見直す際には学生代表を参加させるべきである。
- ・ カリキュラム評価部門会議や学生生活委員会に学生代表を参加させるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、学生代表が委員として医学教育センターカリキュラム検討部門会議に参加し、検討課題について議論した(資料 13)。
- ・ 昨年度に引き続き、学生代表が委員として教育プログラム評価委員会に参加し、医学部 IR 室による調査結果などの報告を受け、議論した(資料 14)。
- ・ 今年度から組織されたメディカルデータサイエンス教育プログラム委員会・評価委員会に、学生代表が参加し、議論した(資料 11, 12)。
- ・ 昨年度に引き続き、議題に応じてクラス委員、課外活動連絡協議会委員、医大祭実行委員会委員などの学生代表が学生生活委員会に参加し、議論した。委員会では、「講義室のコンセント増設」など学生からの要望を議論し、予算申請に繋げた(資料 64-67)。
- ・ 学生と大学執行部が「大学の未来を語る会」を開催できるよう、予算申請を行った(資料 51)。

- ・ 医大祭実行委員（学生代表）と学生生活委員（教員）が医大祭（愛知医科大学大学祭）の企画について検討し、2023年度医大祭は感染症対策に配慮した上で、模擬店等を再開した。

改善状況を示す根拠資料

- 資料 11：2023年度第1回メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会議事録
- 資料 12：2023年度第1回メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会議事録
- 資料 13：2023年度第2回医学教育センターカリキュラム検討部門会議事録
- 資料 14：2023年度第1回医学部教育プログラム評価委員会議事録
- 資料 51：2023年度第10回医学部学生生活委員会議事録
- 資料 64：2023年度第1回学生生活委員会議事録
- 資料 65：2023年度第2回学生生活委員会議事録
- 資料 66：2023年度第4回学生生活委員会議事録
- 資料 67：2023年度臨時学生生活委員会議事録

質的向上のための水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点（特色）

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ コロナ感染状況を勘案しながら課外活動を再開し、西日本医科学学生総合体育大会において、陸上部員が優勝した（資料 63）。
- ・ 数理・データサイエンス・AI教育の企画立案や評価について審議するために組織された、愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会及び評価委員会に学生も参加した（資料 11, 12）。
- ・ 大学コンソーシアムせと（瀬戸市と近隣の高等教育機関 6 大学が協働して、瀬戸地域の新しい文化活動を創成していくための組織）の活動として、学生が生涯学習の支援や市民との交流を深めた（資料 68）。
- ・ クラブハウス設備の充実として、給湯器の設置、シャワー室の改装等における予算申請を行った。

改善状況を示す根拠資料

資料 11：2023 年度第 1 回メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会議事録

資料 12：2023 年度第 1 回メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会議事録

資料 63：学生の表彰（クラブ表彰）について

資料 68：2023 年度「大学コンソーシアムせと」愛知医科大学活動実績

5. 教員

5.1 募集と選抜方針

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 適切にカリキュラムを実施するために教員の募集と選抜の方針を定め、履行すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 教員任用基準(案)について、准教授・講師候補者選考委員会で検討した(資料 69)。

改善状況を示す根拠資料

資料 69：准教授・講師候補者選考委員会議事録(抜粋)

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 若年人口が多いなどの地域に固有な問題に対処するために、診療科の充実を行っている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ さらなる救急体制の充実を図って、骨盤・四肢外傷センターを設置するとともに、当該分野の診療・教育・研究を推進できる教員を新たに配置した(資料 70)。
- ・ 引き続き私立大学研究ブランディング事業で長久手市民を対象とした研究を継続しており、市の特性を活かした予防医学、未病、若年からの対策等を含めた観点から、地域医療を重視した教育への展開を検討する(資料 71)。

改善状況を示す根拠資料

資料 70：骨盤・四肢外傷センターの設置について

資料 71：2023 年度医学部における到達目標と方策の進捗状況について

5.2 教員の活動と能力開発

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 「選択講座」や「基礎医学セミナー」などにおいて教員の研究活動が学生の教育に活用されている。
- ・ 多様なテーマでFDが開催され、研修、能力開発支援に活かされている。
- ・ 教員の教育・研究活動に対し、大学が財政的支援を行う方針が策定され、履行されている。
- ・ 大学保育所の充実や臨床系女性教員の特別短時間勤務を設けるなど、女性教員のキャリア支援や男女共同参画推進に取り組んでいることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 診療活動の評価に関して、他大学への調査結果に基づき学内アンケートに実施した。その後、教員評価委員会で2023年度評価から診療活動評価を実施する方針を検討した。
- ・ 昨年度に引き続き、Web視聴を併用した各種FDを開催した(資料72)。
- ・ 医師の働き方改革への対応の一環として、2024年度からの新勤怠管理システム Dr. JOY 導入に向けて、勤務実態調査と Dr. JOY トライアルを実施した(資料73)。
- ・ 2024年度新入生に適用される新医学教育モデル・コア・カリキュラムに対応したカリキュラムについて、基礎・臨床系の担当教員に分けて説明会を実施した(資料74)。

改善状況を示す根拠資料

資料72：2023年度医学部FD開催一覧

資料73：Dr. JOY トライアル説明資料等

資料74：2023年度第1回カリキュラム検討部門会議の開催通知

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ クリニカル・クラークシップは学生3名に対し教員1名以上が指導している。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 個々の業績（教育、研究）見える化の一環として、2023年11月より Researchmap と連携した教員データベースを構築し、ホームページ掲載による情報発信を行った。
(<https://amurd.aichi-med-u.ac.jp/search/>)（資料 48）。
- ・ クリニカル・クラークシップは学生 3 名に対し教員 1 名以上が指導をしている体制を継続している（資料 33）。
- ・ 2023 年度では学生 1 人あたり 0.859 人の教員を配置している（資料 48）。

年	医学部学生数	教職員数	内看護学部	差引教員数	学生一人当たり
2019	709	659	43	616	0.869
2020	718	658	43	615	0.857
2021	719	665	47	618	0.860
2022	724	657	45	612	0.845
2023	721	662	43	619	0.859

改善状況を示す根拠資料

資料 33：2022-2023 年クリニカル・クラークシップの手引

資料 48：愛知医科大学要覧 2023

6. 教育資源

6.1 施設・設備

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 図書室、マルチメディア教室、シミュレーション教育施設等を含め、カリキュラムが適切に実施され、保障されるだけの十分な施設・設備が整備されている。
- ・ 4～5学年次（セミナー室）と6学年次（医心館）の専用自習スペースが整備され、活用されていることは高く評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ タブレット端末の使用増加に伴い、講義室にコンセント増設計画を策定した。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 創立40周年記念事業としてのキャンパス整備が2018年に完了しており、新病院建設事業も実現している。
- ・ 2016年度にキャンパスマスタープランを策定し、それに沿った整備計画が遂行されている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医心館グループ学習用セミナー室の増設を行った。併せて館内全セミナー室の椅子、机等を整備した。
- ・ 学生の意見を踏まえ、レストラン「オレンジ」の照明を改修するとともに、自販機コーナーの出入口を休日も利用可能とした。
- ・ 「医学部等教育・働き方改革支援事業」の選定を受け、共用試験(OSCE)の実施に必要な

な機器・備品を整備した(資料 75)。

改善状況を示す根拠資料

資料 75：令和 4 年度大学改革推進等補助金「医学部等教育・働き方改革支援事業」交付決定通知

6.2 臨床実習の資源

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 大学病院と、80 か所近い学外の実習協力病院が、学生の臨床経験の場として確保されている。
- ・ シミュレーションセンターが整備され、専任教員が配置されており、学生の技能訓練の場として随時機能している。
- ・ 医学教育センターの主導により「医学教育担当教員連絡会」が毎月開催され、臨床実習指導者の情報交換や FD の場として機能していることは評価できる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ Transitional Acute Care Unit (TACU) の 2024 年度稼働を予定している(資料 76)。
- ・ リハビリテーション関連施設の整備計画を立案した。
- ・ 臨床実習において臨床実習支援システム (F.CESS) の活用を通じて経験症例の解析を続けている(資料 77)。

改善状況を示す根拠資料

資料 76：中央棟 1 階・TACU の整備について (通知)

資料 77：臨床実習中に実施可能な医行為、経験すべき症候・疾患のログ調査報告

質的向上のための水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 地域医療を中心に学ぶ場として、愛知医科大学メディカルセンターをクリニカル・クラークシップに引き続き活用している。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

6.3 情報通信技術

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 入学者に対し、講義等で使用する際の端末機器について性能を再考し、推奨する機器構成を案内した(資料 78)。

改善状況を示す根拠資料

資料 78：授業を受けるにあたっての準備について

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 学内 LAN やマルチメディア教室などが整備され、授業支援システム「AIDLE-K」や自習用 e ラーニングコンテンツが提供されている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 「医学部等教育・働き方改革支援事業」の選定を受け、共用試験(OSCE)の実施に必要な機器・備品を整備した。(資料 75)。
- ・ UpToDate の利用に関して FD を計画した。
- ・ AI の利用規範について、全学生に周知した(資料 79)。

改善状況を示す根拠資料

資料 75：令和 4 年度大学改革推進等補助金「医学部等教育・働き方改革支援事業」交付決定通知

資料 79：ChatGPT 等の生成 AI 利用に関する留意事項等について

6.4 医学研究と学識・・・指摘事項無し

基本的水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 基礎医学セミナーをハイブリッド形式で実施した。引き続き、2024 年度も実施を検討している(資料 25)。

改善状況を示す根拠資料

資料 25：2023 年度基礎医学セミナー日程、班名簿

質的向上のための水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 学会発表や課外活動において特に優秀な成績を収めた学生を表彰し、その様子を学報に掲載して広く周知した(資料 80)。

改善状況を示す根拠資料

資料 80：愛知医科大学学報第 171 号

6.5 教育専門家

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 医学教育センターの教員など、必要に応じて教育専門家にアクセスできる。
- ・ カリキュラム開発、教育技法および評価方法の開発、FD などにおいて、教育専門家を利用するための組織や体制が整っている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学教育に関する FD、及び医学教育者のためのワークショップを継続実施した(資料 81)。
- ・ ベストティーチャー賞受賞者による講演を行った(資料 82)。

改善状況を示す根拠資料

資料 81：2023 年度医学教育者のためのワークショップ次第

資料 82：2023 年度医学部第 3 回 FD の開催案内メール及び次第

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 教育専門家の活用状況については、広報誌やホームページ等を通じて学内外に示している。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、「医学教育センターニュース」を発行し、併せて大学ホームページに掲載し、本学の医学教育の動向を学内外へ周知している(資料 83)。
- ・ 医学教育センターの年次報告書を作成し、学内外に公開した(資料 84)。

改善状況を示す根拠資料

資料 83：医学教育センターニュース

資料 84：医学教育センター・IR 室・シミュレーションセンター年次報告 2022

6.6 教育の交流

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 海外の教育機関との交流を促進するための協定締結が行われている。
- ・ 海外の教育機関への学生派遣や海外の教育機関からの学生の受入が継続的に行われている。
- ・ 多職種連携教育を通じて近隣の大学との協力関係が構築されている。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ タイのタマサート大学を新たな国際交流協定大学として、契約を締結した(資料 6)。
- ・ コンケン大学、南イリノイ大学はじめ国際交流協定大学に 22 名の学生を派遣した(資料 85, 86)。
- ・ ハワイ医学教育プログラム(HMEP)HCCPP コースに 1 名の学生を派遣した(資料 87)。
- ・ Erasmus+ K107 Grant 2019/2020 プログラムで 1 名の教員を派遣した(資料 88)。
- ・ コンケン大学、南イリノイ大学、ウッチ医科大学からの留学生を受け入れた(資料 89)。

改善状況を示す根拠資料

資料 6： 学術国際交流協定書

資料 85： コンケン大学への学生派遣資料

資料 86： 南イリノイ大学への学生派遣資料

資料 87： ハワイ医学教育プログラム (HMEP) HCCPP コースへの学生派遣資料

資料 88： Erasmus+ K107 Grant 2019 2020 プログラムによる派遣教員

資料 89： 学術国際交流協定大学からの留学生の受入れについて

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 教職員や学生の海外研修時の経済的補助や、海外からの留学生に対する宿泊施設の無償提供など、適切な資源が提供されていることは評価できる。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ ハワイ医学教育プログラム (Hawaii Medical Education Program)へ引き続き参加した。

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

7. 教育プログラム評価

7.1 教育プログラムのモニタと評価

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ プログラム改善のために定期的かつ統轄的に教学に関するデータを収集・解析すべきである。
- ・ プログラム評価を実質的に行い、その評価の結果をカリキュラムに確実に反映すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2023 年度は医学部教育プログラム評価委員会を 2 回開催した(資料 14, 15)。
- ・ 2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会にて、医学部 IR 室で実施する各種アンケート調査の体系化・リスト化を行い、委員会に提示するアンケート項目を精査した。併せて、アンケートの名称の統一を図った(資料 90)。
- ・ 委員会議事録のフィードバックについて、検討事項を明示し、関係する委員会に確実に検討してもらうように申し送る体制作りを強化する(資料 36)。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 36：2023 年度第 8 回教務委員会議事録

資料 90：2023 年度第 1 回教育プログラム評価委員会 資料 (IR 調査項目リスト)

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ カリキュラムの特定の構成要素、長期間で獲得できる学修成果および社会的責任について包括的に評価することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 研修施設アンケートを引き続き実施した。アンケートの質問内容が曖昧な点は、改めて医学部 IR 室及び医学教育センターで見直す予定である(資料 91)。
- ・ 同窓生アンケート回収率向上のための回収方法を検討する。

改善状況を示す根拠資料

資料 91：2023 年度研修医コンピテンシー調査・研修施設アンケート結果 報告書

7.2 教員と学生からのフィードバック

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ カリキュラム全体に関する学生からの意見を系統的に収集し、分析して、対応すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部教育プログラム評価委員会では、学生代表参加の下、引き続き医学部 IR 室による各種調査の結果を議論した(資料 14, 15)。
- ・ 医学部教育プログラム評価委員会議事録のフィードバックについて、検討事項を明示し、関係する委員会に確実に検討してもらうように申し送る体制作りを強化する。
- ・ 臨床実習支援システム (F.CESS) を引き続き活用し、学生の臨床実習中の経験症候や医行為の集積、指導医からの評価・コメントの適宜フィードバックがなされている。
- ・ 昨年度に引き続き、医学教育センターでは、クリニカル・クラークシップにおける各診療科についての学生アンケートを実施し、コメントを各診療科へフィードバックした(資料 92)。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 92：クリニカル・クラークシップ診療科へのフィードバック

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 教員や学生からプログラム評価のためのフィードバックを解析し、その結果を利用してプログラム開発を行うことが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部教育プログラム評価委員会議事録のフィードバックについて、検討事項を明示し、関係する委員会に確実に検討してもらうように申し送る体制作りを強化する(資料 14, 15, 36)。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 36：2023 年度第 8 回教務委員会議事録

7.3 学生と卒業生の実績

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 意図した学修成果について学生と卒業生の実績を客観的に分析すべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、医学部 IR 室による、マイルストーン調査、コンピテンシー調査(卒業予定者アンケート)、研修医コンピテンシー調査(卒業生アンケート)が実施され、医学部教育プログラム評価委員会にて報告された(資料 14, 15)。
- ・ 同窓生アンケートの内容の見直しを検討する。
- ・ 同窓生アンケート回収率向上のための回収方法を検討する。
- ・ 学修支援等の教育効果について、教務委員会等で検討を行う。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 学生の実績の分析を行い、責任がある委員会へフィードバックすることが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部 IR 室が行った入試データと学生成績進級状況の分析を踏まえ、入学試験委員会、教授会と理事会において、令和 7 年度入試から入試区分の変更を決定した(資料 45, 93, 94)。

改善状況を示す根拠資料

資料 45：2023 年度第 2 回医学部入学試験委員会議事録(抜粋)

資料 93：2023 年度第 2 回理事会議事録(抜粋)

資料 94：2024 年度第 4 回医学部教授会議事録(抜粋)

7.4 教育の関係者の関与

基本的水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ 医学教育センターカリキュラム評価部門に学生代表を参加させ、学生の意見をプログラム評価に反映させるべきである。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、医学部教育プログラム評価委員会では、本学卒業の初期研修医、学外有識者、地域関係者と共に、各学年の学生代表が委員として参加した(資料 14, 15)。
- ・ 2023 年度に発足したメディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会では、学外有識者、地域関係者と共に、各学年の学生代表が委員として参加した(資料 12)。

- ・ 医学部教育プログラム評価委員会及びメディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会での議論を関係する委員会に確実に検討してもらうように申し送る体制作りを強化する。

改善状況を示す根拠資料

資料 12：2023 年度第 1 回メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会議事録

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

質的向上のための水準：部分的適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ 医学教育センターカリキュラム評価部門によるプログラム評価の結果を閲覧できるようにすることが望まれる。
- ・ 卒業生が将来働く環境からの卒業生の実績に対するフィードバックを得て、教育プログラムを適切に改良することが望まれる。

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部教育プログラム評価委員会議事録の閲覧方法については、医学部教育プログラム評価委員会のみでなく、その他の医学部の委員会の議事録の閲覧方法と併せて検討を進める。
- ・ 医学部教育プログラム評価委員会の評価結果を集約して、関係各所に適切にフィードバックする体制を検討する。
- ・ 昨年度に引き続き、研修医コンピテンシー調査・研修施設アンケートを実施し、調査結果を教育プログラム評価委員会で議論した(資料 14, 15, 91)。

改善状況を示す根拠資料

資料 14：2023 年度第 1 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 15：2023 年度第 2 回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料 91：2023 年度研修医コンピテンシー調査・研修施設アンケート結果 報告書

8. 統轄および管理運営

8.1 統轄

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ アドミッションセンターの設置検討を行った。
- ・ 2023年4月に病院事務部に診療支援課を設置した(資料48)。

改善状況を示す根拠資料

資料48：愛知医科大学要覧2023

質的向上のための水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 医学教育センターのカリキュラム検討部門とカリキュラム評価部門に父兄後援会・医学部同窓会の代表や他大学の医学教育専門家を加えている。

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 教育プログラム評価委員会を開催した(資料14, 15)。
- ・ OSCE 評価者講習会への積極的参加の啓発を行った(資料95, 96)。

改善状況を示す根拠資料

資料14：2023年度第1回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料15：2023年度第2回医学部教育プログラム評価委員会議事録

資料95：2023年度第14回教務委員会議事録(抜粋)

資料96：2023年度第13回医学部教授会資料(資料No.31)

8.2 教学における執行部…指摘事項無し

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 文部科学省の数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度実施要綱に基づく教育プログラムを実施するため、愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会及び愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会を設置した(資料 97, 98)。

改善状況を示す根拠資料

資料 97：愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム委員会規程

資料 98：愛知医科大学メディカルデータサイエンス教育プログラム評価委員会規程

質的向上のための水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 昨年度に引き続き、「医学部における到達目標と方策」を作成し教授会に諮った。教授会承認後に大学運営審議会で審議された。また、年度末には「医学部における到達目標と方策の進捗状況」を作成し、同じく教授会に諮り、承認後に大学運営審議会で審議された(資料 71, 99)。

改善状況を示す根拠資料

資料 71：2023 年度医学部における到達目標と方策の進捗状況について

資料 99：2023 年度医学部及び医学研究科における到達目標と方策について

8.3 教育予算と資源配分…指摘事項無し

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 医学部予算案は教務委員会、学生生活委員会、医学教育センター運営委員会など各種委員会、基礎科学・基礎医学・臨床医学の各部門、医学部附属施設の各々が作成した予算要求内容を集約し、医学部教授会の下に設置されている医学部予算委員会での仔細な検証を経て、医学部教授会において審議の上、決定している。その後学校法人の予算会議で審議し、中長期計画との整合性を図りつつ編成作業を行う。こうして作成された予算案は「学校法人愛知医科大学寄附行為」第 28 条の定めに従い、理事会及び評議員会での審議と承認を経て次年度予算として成立する(資料 100, 101)。

改善状況を示す根拠資料

資料 100：学校法人愛知医科大学寄附行為

資料 101：愛知医科大学医学部予算委員会規程

質的向上のための水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 令和 5 年度大学改革推進等補助金「高度医療人材養成事業」に申請を行い、採択された(資料 102)。
- ・ 教育の充実に向けた医学部の取り組みに対して積極的であった講座等に対して、本学の講義・実習内容を更に充実させ、効果的な教育を展開していくことを目的に医学部長インセンティブの支給を検討した。

改善状況を示す根拠資料

資料 102：令和 5 年度大学改革推進等補助金「高度医療人材養成事業」交付決定通知書

8.4 事務と運営…指摘事項無し

基本的水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 2023 年 4 月に病院事務部に診療支援課を設置した(資料 48)。
- ・ 医師国家試験対策の業務量拡大に伴い、教務課に派遣職員 1 名を増員した。

改善状況を示す根拠資料

資料 48：愛知医科大学要覧 2023

質的向上のための水準：適合…指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ なし

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

8.5 保健医療部門との交流

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 行政（長久手市、瀬戸市、尾張旭市）と連携した愛知医科大学公開講座を実施した(資料 103)。
- ・ 大学コンソーシアムせとの事業である「大学生によるまちづくり活動」に本学の学生ボランティアサークル HIAMU が参加した(資料 103)。
- ・ 能登半島地震への支援として病院災害対策本部を立ち上げ、DMAT（災害派遣医療チーム）、DPAT（災害派遣精神医療チーム）を続けて派遣した(資料 103)。
- ・ ドクターヘリ運航 20 周年記念シンポジウムを開催した(資料 103)。

改善状況を示す根拠資料

資料 103：愛知医科大学学報 第 173 号

質的向上のための水準：適合・・・指摘事項無し

特記すべき良い点(特色)

- ・ なし

改善のための示唆

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ なし

改善状況を示す根拠資料

- ・ なし

9. 継続的改良

基本的水準：適合

特記すべき良い点(特色)

- ・ 機関別認証評価と医学教育分野別評価を受け、組織と機能の改善や課題の修正に取り組んでいる。
- ・ 私立大学等改革総合支援事業（タイプ1：教育の質的転換）に採択され、教育の特色化や機能強化に全学的に取り組んでいる。

改善のための助言

- ・ なし

関連する教育活動、改善内容や今後の計画

- ・ 私立大学等改革総合支援事業において、2019年、2020年、2021年度に続き2022年度においても選定された(資料104)。

改善状況を示す根拠資料

資料104：ホームページ：お知らせ（令和4年度私立大学等改革総合支援事業選定）

質的向上のための水準：評価を実施せず